

編集後記

第 27 号をお届けします。三年にわたるコロナ禍もようやく終わりが見え始め、キャンパスにも活気が戻りつつあります。校内への立ち入りが制限され、教育・研究環境の激変に呆然としていた頃が、随分前のことのように思われます。

今号には、論文三編と訳注一編を掲載することができました。矢田論文は、楚辞「哀時命」を従来とは異なる観点から論じ、その文学的性格を浮かび上がらせるを試みています。室論文は、蘇軾の詠雨詞を論じる準備段階として、蘇軾以前の詠雨詞の展開について考察したものです。平良論文は、近代沖縄漢詩黎明期の作品を取り上げ、歴史的背景をふまえて分析しています。上原先生の訳注は、研究グループの成果の一部であり、楚辞「九懷」の訳注が刊行されるのは日本ではこれが初めてとなります。

次号以降も本誌の内容を充実させるべく、会員の皆様からのご投稿をお願いいたします。

なお、今号の編集にあたっては、土屋育子教授、張佩茹准教授、菅原尚樹助教にご尽力いただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。（代表 矢田尚子）

執筆者紹介（論文掲載順）

矢田 尚子	東北大学大学院文学研究科教授
室 貴明	東北大学大学院文学研究科
平良 妙子	琉球大学人文社会学部琉球アジア文化学科准教授
上原 尉暢	大谷大学真宗総合研究所特別研究員

東北大学中国語学文学論集 第 27 号

2022 年 12 月 30 日発行

発行者 東北大学中国文学研究会（代表：矢田尚子）
発行所 東北大学文学部中国文学研究室
980-8576 仙台市青葉区川内 27-1
電話 022-795-5977
